

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	Playプラス		公表日		2026年 2月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		限りある部屋を有効に使えるよう考えてくれている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>		送迎等は工夫して改善も出来ていると思うが、子どもの状態(痙攣等)において、対1支援になる場面もありその際は職員の数が足りないと感じる時がある。職員が急な休みになった場合いるメンバーで協力して対応できているが、午後からの固定の職員さんがあと一人いらっしやったら心に余裕を持って仕事ができると思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		見た目で見やすい構造ではあると思うが、危険個所(配慮はしている)もある(段差やカバンだな)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			活動中に声や音が気になり集中が難しい様子の時もある。今後、配慮が必要(活動の時間帯や場所など)
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		子ども達にも個室に行っても良いと声掛けをしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		面談を通じ、保護者と関わる機会を頂いている。保護者の意向を聞き、活動に生かしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日、話す機会を設けている(昼礼)	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部の研修やeラーニング形式の研修がある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者の意向を個別支援や活動に反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員に計画を伝え、策定する機会を作っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		最低でも年に一度のアセスメントを取り、現状の把握をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		地域支援等を入れていない。(例で言えば)学童に移行できるよう考えていきたい。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	職員と協力し立案している。職員からの積極的な意見がある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	毎日利用される子もいるので、飽きないよう考えているが、SSTや学習支援等については長期で組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別と小集団をその子に応じて組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	屋礼などで共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	屋礼などで共有している。時間の関係で支援終了後に必ず打ち合わせはできていない。その日の振り返りは簡単に情報共有し、次の日の朝礼や屋礼時に振り返りと気付いた点の共有を行い助言等を得ている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	記録は必ずとっている。見直し確認をすることもある。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年以内に必ずモニタリングを行い都度見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○	地域交流の機会も少しずつ増えてきた。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	スモールステップの子もいるが、少しずつ自分の意思を伝えられるよう今後もサポートを行う。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	学校など、情報を共有し支援を行っている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○	下校の確認など間違えないように確認しながら行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	担当者会議で聞く機会があり理解ができた。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		まだ移行支援の対象はいないが移行支援会議の機会があれば情報提供を行いたい。対象児童がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		今後機会があれば聞いてみたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	他事業所との関りもあった。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	今年度末から参加し始めた。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	こちらからの発信を今後も増やしていきたい。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		面談での相談に応じた事はあるがペアレント・トレーニングの機会はない。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約の際に内容を伝えている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者にお会いした際に、個別支援の内容を伝え承諾を得ている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援の内容を見て頂き同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談を受けた際は助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		管理者が迅速な対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			SNSにて発信している。頻度が少ないので増やしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人ファイルの取り扱い等今後も気を付けていきたい。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約の際に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	対象児童がいない。(乳糖不耐性が一名いるが指示書無)	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			危険・安全個所についての研修や訓練を行っていない。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		重要事項説明書の内容を伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		今後さらに活用していく。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人で合同で実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	対象児童がいないが、必要があれば個別支援計画に記載、同意を取る。	